

第1回 走るんや!

P 2

- ① みぢかく↓じ ② 気づいて↓づ ③ こんにちわ↓は  
④ 少しづつ↓ず ⑤ みかずき↓づ ⑥ こうり↓お

P 3

- 1 (1) はっしや (2) いそ (3) くかん (4) 拾 (5) 育  
(6) 重  
2 (1) イ↓ウ↓ア↓エ (2) ウ↓イ↓ア↓エ  
3 (1) 十 (2) 七 (3) 八 (4) 十一  
4 ウ

P 4

〔文章たんけん〕

- 1 問い1 (1) 木は年をと  
(2) 板  
(3) 応接室

解説

問い1 (1) 「ぼく」と「まっくん」はなぜその木を「基地」にしよ  
うと思ったのか。それはその「木」のすがたが「基地」に  
するにはうってつけだったからである。

(2) 18行目に「枝と枝のあいだに、板をわたしてへやを作  
った」とある。

(3) 「応接室」とは、来客をもてなすためのへやのことだが、  
ここでは、いすやテーブルを置いて、くつろげるようにし  
たへやのこと。

問い2 「応接室」ができあがったときの気持ちを考える。たいへん  
な苦勞をしてやっとできたよろこびを全身で表している。

問い3 「ぼつんと」はひとことだけしゃべって、あとはだまってし  
まう様子を表す。「たけしくん」にはもう「秘密基地」を見せ  
られないのだという「まっくん」の悲しい気持ちを読み取る。

問い4 「楽しいとき」「うれしいとき」「ごちそう食べたとき」はど  
んな気持ちになるか考える。

第2回 自転車はみんな見ていた

P 6

- ① 里 ② 事 ③ 面 ④ 戸 ⑤ 服 ⑥ 米 ⑦ 考

P 7

- 1 (1) だいまい (2) そそ (3) あ (4) 勉強 (5) 方向  
(6) 陽気  
2 (1) ここ (2) それ (3) この (4) あの・どう  
(2) こんな (2) どこ (3) そこ

P 8

〔文章たんけん〕

- 1 問い1 (1) かんとく (2) うわのそら  
問い2 自転車をぬすまれてしまった  
問い3 ア  
問い4 ㉠ エ ㉡ ア  
問い5 ウ

解説

問い1 (1) 次の一文に「かんとくの声がとんできました」とある。

(2) 「うわのそら」とは、ほかのことに気をとられ、注意が  
集中していない様子を表す。

問い2 11・12行目に「ぼくはきのう、自転車をぬすまれてしまっ  
たのです」とある。

問い3 「反省」とは、自分の行いをふり返って、よくなかったこと  
をかみしめて考えること。ひろしは「かぎをかけなかったのは、  
ぼくがいけなかった」と思っている。

問い4 お父さんとお母さんからいつまでももんくを言われ、お兄ち  
ゃんもやさしいことばをかけてはくれなかったのに、かんとく  
だけが自分のことを心配してくれている。それで、ひろしはむ  
ねがいっぱいになっている。

問い5 自転車をぬすまれたためにひろしの元気がなかったのだとい  
うことを、かんとくはわかったのである。

第3回 ペンギンの体に、飛ぶしくみを見つけた!

- P 10  
① しろくま ② カメレオン ③ きょうりゆう

- P 11  
1 (1) しごと (2) どうぶつえん (3) こんど (4) 全員  
(5) 緑 (6) 始  
2 (1) しかし (2) だから  
3 (主語・述語の順に) (1) ア・エ (2) ア・エ (3) イ・エ

P 12

「文章たんけん」

- 1 問い1 (1) 六つ (2) 南半球  
問い2 流線形  
問い3 ウ  
問い4 (1) × (2) ○ (3) ○ (4) × (5) ○  
問い5 トウゾ( )るため

解説

- 問い1 (1) 次の段落に「ペンギンは、大きく六つのグループに分けられる」とある。  
(2) 4〜5行目に「ペンギンのすんでいる所は、南半球だけ」とある。

問い2 この段落はすべて、ペンギンの泳ぐすがたについて書かれているので、その中から形を表すことばをさがす。

問い3 昔の人がペンギンを何のなかとまちがってしまったのかを考える。14〜15行目の「魚も同じ形をしているものが多い」に注目する。

問い4 (1) 20〜22行目に「アデリーペンギンのたまごは、ニワトリのたまごより少し大きいぐらいだ」とある。

(4) おすとめすは交代でたまごをあたためるので、いっしょにはあたためない。

問い5 ひなだけが集まる集まりをクレイシとよぶことをまずおさえる。すると、32行目の「なぜクレイシをつくるのかは……」のあとに、ひなが集まる理由が書かれていることがわかる。

第4回 唱歌／未確認飛行物体

- P 14  
① 間 ② 石 ③ 何 ④ 王

- P 15  
1 (1) だいひょう (2) しょうめん (3) ようす (4) 行列  
(5) 研究 (6) 身長  
2 (1) エ (2) ウ (3) イ  
3 (1) 算数の (2) じゆぎょうが (3) 午後

P 16

「文章たんけん」

- 1 問い1 ア  
問い2 イ  
問い3 教室

解説

問い1 オルガンでかなでられる音を、小鳥にたとえて表現している。

問い2 「頭の上を／まわりはじめた」とあることから、まわっている様子を表すことばをえらぶ。

問い3 「教室の 高いところの／窓ガラスが一枚、こわれていて」の部分からわかる。教室で先生がオルガンをおひきになっている場面である。

2

- 問い1 薬缶  
問い2 息せき切って  
問い3 砂漠・白い花・水

解説

問い1 題名の「未確認飛行物体」とは、空を飛ぶ、正体がわからない物体という意味。詩の中の、夜ごと台所をぬけ出して空を飛んで行く「薬缶」のことを指している。

問い2 「息せき切る」とは、とても急いで息を切らして、はあはあいうという意味。

問い3 第三連の「砂漠のまん中に一輪咲いた淋しい花、／大好きなその白い花に、／水をみんなやって戻って来る。」の部分に着目する。薬缶は、大好きな花に水をやるために、毎夜、空を飛んで行くのである。

第5回 ヨースケくん

- P 18
- ① かるい ② 遠い ③ ひろう ④ 売る

- P 19
- 1 (1) うんどうじょう (2) も (3) しゅじんこう (4) 悪  
 (5) 返事 (6) 調子
- 2 (1) 大きな (2) この (3) 美しい (4) わたしの  
 (1) はげしく (2) いつも・大声で (3) 今日・ドッジボールを

P 20

〔文章たんけん〕

1 問い1 川面 (別解) 水面・川岸・進んで

問い2 ウ

問い3 ア

問い4 (1) おれが牛乳 (2) イ

解説

問い1 1～17行目の内容をとらえる。

問い2 止まる様子を表すことばをえらぶ。

問い3 こうふんしながら川の様子を話すヨースケくんの気持ちをとらえる。

問い4 (1) 倉橋くんが出かけるまでの準備をすべてし終わり、ヨースケくんに声をかけるまでの間ずっと、ヨースケくんは川を見ていたのである。

(2) 「なるほど」「そっぴいえば」「……気もしてきた」などから、時間のたつのもわすれて、むちゅうで川の様子を見ていたことがわかる。

いじば遊び

- P 22
- 1 ① 記 ② 書 ③ 会 ④ 意
- 2 ① ① ② ③ ④

- P 23
- 3 ① か(に) ② (つ)き ③ ざる ④ あめ  
 ⑤ う(し)
- 4 ① (く)る(ま) ② (い)る(か) ③ (あ)やど(り)  
 ④ (い)の(し)し( ) ⑤ (か)み(こ)う(き)